



— 兵庫県議会自由民主党議員団 —

We Love Hyogo

～みんなで創る兵庫の五国～



発行

兵庫県議会自由民主党議員団政務調査会
〒650-8567
神戸市中央区下山手通5丁目10-1
TEL:078-341-7711 (内線) 5090
FAX:078-351-0772
MAIL:info@jimin-kengi.org

緊急経済対策で補正予算2380億円計上

戒指標の最高レベルを超える「特別期」に専用の感染拡大防止や地域活性化の実現化、県民生の感染拡大防止や地域活性化に早期に取り組んでいます。コロナ対策では県警と合わせて新型コロナ

規模で、ほぼ国の財源を活用して編成しているのが特徴。既定予算と合わせて新型コロナ

阪神・淡路大震災直後を除くと過去最大の規模で、6月補正予算案などを可決しました。

ワクチン接種 大規模会場2カ所設置



第354回定例県議会を開き、緊急経済対策として6月補正予算案などを可決しました

大震災直後に次ぐ規模に

福島 茂利 議員
神戸市兵庫区

福島 2050年を展望する兵庫の新たな将来ビジョンで6つの基本姿勢と39の未来シナリオが示された。新ビジョンの策定を担う次期知事にどのような取り組みを望んでいるのか。

知事 進取の気性に根づいた兵庫を舞台に、県民とともに県政を推進する共通目標として新ビジョンの実現をリードし、具体化されることを期待したい。

福島 コロナ対応で過酷な

自由民主党
兵庫議員団 代表質問

第354回定例県議会(要約)

業務につく看護師の負担軽減を図る必要がある。看護師の資格がなくてもできる仕事を分けて取り組み、県内企業が開発した新技術を導入するなど負担軽減の対策も重要だ。

知事 病室等の自動消毒機の導入、清掃業務の委託化などで負担軽減をめざし、こころの健康を支援するため相談窓口を設置している。

自由民主党
兵庫議員団 一般質問

第354回定例県議会(要約)

- ①地方分権と広域行政、関西広域連合の取り組みについて
②参画と協働の取り組みについて
③行財政構造改革と新しい条例に基づく3年目の見直しについて
④ポストコロナを見据えた強靭で元気な県土づくりについて
⑤創造的な改革の絶えざる推進に向けて

山本 敏信 議員 高砂市

新執行部が決まりました

幹事長 小西隆紀	副幹事長 伊藤傑	副幹事長 伊藤猛
(神戸市兵庫区)	(丹波篠山市)	(神戸市東灘区)

政調副会長 松本裕一	政調副会長 富山恵二	政調副会長 浜田知昭
(加古川市)	(相生市)	(洲本市)

行財政運営方針見直しへ

県では行財政運営方針の策定から3年目を迎える今年度、財政フレームや取り組みを検証して運営方針の見直しに着手します。

阪神・淡路大震災からの創造的復興で悪化した財政を立て直すため、県では平成11年度から行財政改革を実施。30年度には県税収入などが支出を上回る収支均衡などを達成しました。

一方、震災関連県債の償還

が残る中、新型コロナの影響で令和2年度から県税収入が大幅に減少し、令和4~9年度にかけて総額330億円の収支不足が生じる見込みです。

見直しでは組織体制や事務事業、大型投資事業のあり方などを7月まで検証し、県議会に特別委員会を設けて来年3月末ごろの方針とりまとめをめざします。

日となつた6月9日、正副議長の改選が行われ、わが会派の藤本百男議員(加東市)が議長に、谷口俊介議員(神戸市西区)が副議長に選ばれました。



副議長に藤本百男(加東市)議員が就任しました
副議長に谷口俊介(神戸市西区)議員が就任しました

新型コロナ対策 波状に緊急要望



◆3度目となる緊急事態宣言の発令で議員団執行部が緊急要望。医療ひっ迫などで早急な対応を訴えました



緊急事態宣言の延長を受けて、飲食店の経営支援や地域経済対策などを求めました



▲酒類を飲食店に卸す業者でつくる県小売酒販組合連合会が窮状を井戸知事に直訴。議員団執行部も同席し、売り上げ減少で深刻な死活問題に直面する業界の現状に理解を促しました（下記6月補正予算の成果A参照）



▲県内の旅館やホテルなどの組合員368人が加盟する県旅館ホテル生活衛生同業組合が井戸知事に要望。経営に大きな打撃を受けている危機的状況が伝えられ、事業継続への支援を求めたほか、県議団も同席して強く要請しました（下記6月補正予算の成果B①②参照）

業界の窮状

県政に切実訴え

主な要望項目（抜粋、要約）

- 緊急事態措置内容の機動的な見直し
- 中小・零細企業への切れ目のない経営支援
- 民間病院等と協力した病床確保
- 県境を越える移動や屋外での飲酒の自粛
- 協力金対象外の小売酒販業界の救済
- ワクチン接種の円滑な実施体制構築
- コロナ禍に苦しむ旅館、ホテル業界支援
- 国への十分な財政措置要請

高潮被害の南芦屋浜で防潮堤完成

平成30年9月に近畿地方を襲った台風21号の高潮で浸水被害を受けた芦屋市内の南芦屋浜地区で、南護岸の延長約1400㍍の改修工事が完成しました。高潮に備えた護岸のかさ上げ対策で、東・西・北側の工事は今夏から始まります。南護岸は高さ約3㍍の大型波返しと高さ1.5㍍の後壁の2段構造。当初は3㍍級の防潮堤が計画されましたが、住民の要望を受けて議員団が県につなぎ、景色が見晴らせるアクリル板が採用されました。



6月補正予算の主な事業（要約）

医療体制の充実、収束後の活性化や生活安定事業も

- ▷ワクチン個別接種促進への支援=一定以上の接種を行う診療所に回数に応じて支援金（週100回以上の接種を7月末まで4週間以上行う診療所→支援金2千円／回）（週150回以上の接種を7月末までに4週間以上行う診療所→支援金3千円／回）（50回以上／日を接種する医療機関→支援金1日10万円）など
- ▷時間外・休日のワクチン接種への医療従事者の派遣=高齢者のワクチン接種を早期に完了するため、市町の接種体制強化を支援
- ▷県独自の大規模ワクチン接種会場を設置【神戸市以外の県内在住者対象、阪神地域：西宮市立中央体育館、中播磨：アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）、最大1000回／日】
- ▷感染拡大防止協力金の支給【飲食店、大規模施設、テナント事業者】
- ▷酒類販売事業者への月次支援金の支給=飲食店と取引のある酒類販売事業者に国の月次支援金の対象要件を緩和して支援（個人10万円／月、法人20万円／月）（成果A）

- ▷ひょうごの清酒消費拡大キャンペーンの実施（予算額：1000万円）

- ▷県産農水産物の消費拡大キャンペーンの実施

- ▷地域観光への支援=感染状況を見極め、県内宿泊旅行業の回復を支援（旅行・宿泊代金割引：最大1人泊5千円、クーポン券配布：宿泊・旅行代金1万5千円以上で2千円、1万円以上で千円）（成果B①）

- ▷宿泊事業者が感染拡大防止策の強化等に取り組む費用を支援（成果B②）

- ▷子育て世帯生活支援特別給付金の支給（対象=18歳未満の児童を養育する父母等で令和3年度住民税均等割非課税者、支給額=児童1人あたり5万円）

- ▷ひとり親家庭住宅支援資金貸付の実施=ひとり親が入居する住宅家賃の資金を無利子貸付

- ▷つながりサポート型女性相談支援事業の実施=コロナ禍で不安や困難を抱える女性を支援

- ▷生活に困窮する大学生等への支援（私費留学生のための緊急奨学金の支給、県内大学生の地元就職促進事業の実施）

今定例会で可決した6月補正予算の主な事業を左記に紹介します。医療提供体制の充実はもちろん、収束後を見据えた地域経済の活性化や県民生活の安定化をめざす施策も盛り込んでいます。